令和7年度 狭山市立笹井小学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1)学力向上　(2)家庭との連携(家庭学習)　(3)生徒指導・教育相談　(4)人権教育
(5)健康教育・体力向上　(6)マーチング活動　(7)防災教育

2 本年度の経営方針

〇一人一人の児童のよさを認め、伸ばし、授業が分かり、楽しく学び合う学校づくり
〇教職員一人一人のよさをいかし、研究と修養に励み、信頼と活力に満ちた学校づくり
〇コミュニティースクール(学校運営協議会)を軸に、笹井地域の良さや地域の教育力を生かす開かれた学校づくり

3 自己評価結果

【評価の目安】A:よくできている(90%) B:概ねできている(85%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない(70%未満)

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教育目標	1	私は、「賢」「和」「逞」について実現の努力をしている。	A	・学校教育目標の内容を学年目標に落とし込んではいるが、学校便りや保護者会等の機会を捉えて、地域・保護者への説明を行い、学校教育への理解と協力をさらに得られるようにする。
	2	児童に、「賢」「和」「逞」の場面を意識した場面がみられる。	A	
	3	本校は、「賢」「和」「逞」について保護者への浸透が図られている。	C	
2 組織運営	4	本校は、校長・教頭を中心に、学校経営方針のもと、学校教育目標達成に向けて組織的に取り組んでいる。	A	・少ない人数で効率的に運営できるよう更なる改善を行う。教科部会等についても時間を確保し、無理なく実施できるように努める。
	5	本校は、学年・分掌組織を活かし、協働体制で教育活動を進めている。	A	
	6	私は、学校経営方針に基づき参画意識をもって、教育活動を進めている。	A	
3 学力の育成	7	児童は、学習規律の定着が図られている。	A	・今年度は「主体的・対話的で深い学びの実現～自分の考えを持ち、互いに考えを伝え合い、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業の実践～」を研究主題とし、授業研究等を実施してきた。これらをさらに効果的に実践するためには、各教科でのさらなる基礎基本の定着が必要なため、授業改善を実施する。タブレットの活用については増加したが、まだ十分ではない。
	8	私は、基礎・基本の習得を目指した指導をしている。	A	
	9	私は、主体的で対話的な深い学び(提言5)の実現に取り組んでいる。	A	
	10	私は、児童が学びを実感できる授業(提言6)に取り組んでいる。	B	
	11	私は、ユニバーサルデザインを意識した授業を展開している。	B	
	12	私は、ICT(タブレット・PC・大型TV等)を活用した授業に取り組んでいる。	B	
4 道徳人権	13	私は、道徳の授業を核とし、道徳的心情を育てる心の教育を行っている。	A	・学校公開日等で道徳の授業や人権意識等について積極的に家庭・地域に発信していく。配慮を要する児童に対して、共通理解の立場に立ち継続的に指導していく。
	14	私は、思いやりのある言葉遣いなど、人権感覚を醸成する指導をしている。	B	
	15	本校は、配慮を要する児童への理解と交流がなされている。	A	
5 特別活動	16	本校は、縦割り活動等で望ましい異学年交流が実現できている。	A	・児童の自発的・主体的な活動を充実させるよう、活動計画の見直し、話し合い活動の実施を通じて改善していく。
	17	私は、話合い活動を通して児童の主体性を育てている。	B	
	18	私は、児童の笑顔があふれる学級づくりや校務運営を行っている。	A	
6 生徒指導教育相談	19	本校は、生徒指導や教育相談を通して、共通行動のもと組織的対応が図れている。	A	・生徒指導・教育相談の内容をより充実させるとともに、教職員間の共通理解、Q-U等の客観的データの活用等、個々の課題や特性に応じた指導を実施する。また、アンガーマネジメントを意識して指導にあたり、命に関わること以外は諭す指導を徹底する。教職員・保護者・地域との情報連携・行動連携を密にし、外部機関とも連携しながら課題や問題の早期発見・早期対応・早期解決に努める。
	20	私は、報告・連絡・相談を心がけ、早期発見・即日対応に努めている。	A	
	21	私は、基本的生活習慣の確立のため、毎月の生活目標に取り組むよう指導している。	A	
	22	私は、いじめを許さない積極的な指導をしている。	A	
	23	本校は、不登校児童への支援や不登校を未然に防ぐための指導をしている。	B	
	24	私は、あいさつ(校内・地域)を行い、適切な指導(大きな声で怒鳴らず諭す)をしている。	C	
	25	私は、保護者にカウンセリング・マインドで傾聴・支援をしている。	A	
	26	私は、無言清掃や掃除の出来ばえを確認する指導をしている。	A	
7 体力健康安全食育	27	私は、体育の授業や休み時間における外遊びの奨励など体力の向上を図る指導をしている。	A	・コロナ禍ではなくなったため、黙食や検温については少しずつコロナ禍前の状態に戻しつつあるが、感染予防策については今後も指導していく必要がある。今後は「生き生きタイム」「歯科指導」などの保健指に加え、「スマホ・ネット依存」等、今日的な課題をについても取り上げていきたい。今年度は「視力低下」や「足育」について学校保健委員会で取り上げた。
	28	私は、衛生面(ハンカチ・ティッシュ・手洗い等)の徹底指導を行っている。	B	
	29	私は、感染予防(マスク着用・黙食・検温等)の指導を確実に行っている。	C	
	30	私は、登下校中の交通安全指導(危険予測等)を日常的に行っている。	B	
	31	私は、不審者対応(逃げる、早めの帰宅等)の指導を日常的に行っている。	A	
	32	私は、円滑な配膳や食事中のマナーなど給食指導を適切に行っている。	A	
8 施設設備	33	私は、安全で過ごしやすい教室環境づくりを実践している。	A	・日々の安全点検を徹底し、瑕疵による事故0を当たり前のこととして捉え、施設設備の維持管理に努める。学校運営協議会やPTAとも連携し、施設点検を実施していく。
	34	私は、毎月定例の安全点検を確実に実施し、報告している。	A	
	35	本校は、トイレ、流し等清潔に保たれている。	A	
9 家庭地域連携	36	本校は、保護者や地域に学校の情報を積極的発信している。	B	・学校便りや学級便り等を通して本校の教育活動を積極的に発信できた。スクリレを活用し、紙ベースを減らしながらも学校情報を積極的に発信していく。また、学校運営協議会を軸とし、バザーや地元企業とのコラボ授業等の体験活動を行うことができ
	37	本校は、ボランティアや外部講師等の協力を積極的に行っている。	A	
	38	本校は、PTAやコミュニティスクールと連携を深め、活動している。	B	
	39	私は、保護者との連携(連絡帳・電話・面談等)を密に行っている。	A	
10 研修	40	私は、自己評価シートにある自己の研修に目標を持って取り組んでいる。	B	・校内研修を軸とし、自己研修ができる時間も確保していく。
	41	私は、校内研修や研究授業を通して授業改善につなげている。	B	
11 服務	42	私は、諸表簿の記入等の事務処理を適切に行っている。	B	・早く適切で正確な処理を行うため、諸表簿の記入について夏期休業日中に研修会等を実施する。また、一人での確認には限界があるため、複数人での教え合い、確認に努めていく。
	43	私は、来校者等に対して、挨拶や服装、言葉使い等、適切に対応している。	A	
	44	私は、教育公務員として、誇りを持ち、職務に専念している。	B	
	45	私は、出張や研修の報告(復命)を管理職に行っている。	A	
	46	私は、体罰・暴言、SNS、個人情報漏洩、交通事故、会計事故等に気を付けている。	A	
11 働き方改革	47	本校は、働き方改革に向けた業務改善を積極的に進めている。	B	・今年度は会議の時間を生み出すため、教育課程を変更したが、それでもまだ定時に終了しない会議が見られる。職員会議を含め会議の回数を減らし、内容についても精査していく。また、定時退庁を徹底し、勤務時間外在校時間を45時間以内に努める。
	48	本校は、会議の回数や時間が無理のない範囲で実施されている。	C	
	49	私は、会議の開始時刻を守り、提案は時間内で終わるよう努力している。	A	
	50	私は、ワークライフバランスを考えて計画的に仕事を進め、ノー残業デー、ふれあいデーを意識して健康管理に努めている。	A	